

秋丸だより

言志

秋丸 健一郎

今回の言志は代表質問の最後に議場で述べたことを抜粋して記します。

「元生活安全部長の起訴事実は、『霧島署のストーカー規制法違反事件の捜査資料を北海道の記者に送付して秘密を漏らした』ことです。枕崎署の盗撮の件は罪には問われていません。

起訴されていない事案は、公判で扱われる可能性は限りなく低く、ましてや、枕崎署の盗撮事件の隠蔽が事実であるとかないとか、ということとは司法が踏み込むはずがないのです。

裁判で取り扱われたい、警察には自浄作用がない、公安委員会も形骸化している。

誰が、この状況を正してくれるのか。我々県議会議員は、それぞれの選挙区の県民代表として、県民の声を県政に伝えるために、この議場におります。

一人ひとりの政治的な主義主張は、それぞれの信念のもとに行われるものですが、今回の問題は、個々人の議員の政治的主張を超えた、もっと根本的なもの、県民の安心安全、自分が被害者になったときに、県警は助けてくれないのではないかと、という拭いがたい不信感を県民が抱えたままにしてしま



令和6年 第3回定例会 9月19日の代表質問

う、そういう問題です。」
私は、県警本部長の件だけではなく、不祥事が止まらない鹿児島県警を県民目線でチェックし、組織の刷新・信頼回復に協力するために、そもそもの提案から決議文書の作成まで、百条委員会の設置に全力で取り組んできました。力が足りなかったと反省しております。
今回、特に公安委員会の選考方法の質問は、メディアでも大きく取り上げられました。目立たないけれど大事なことを取り上げる。質問は、切り口が肝要です。
前回のこの秋丸だよりで、上中津川の90歳の方からお褒めのお電話をいただき、大変恐縮でした。また、気に入っていただけると良いのですが。

霧島市・湧水町 県議会トピック

事業

北薩横断道路 溝辺道路区間の地権者説明会

出水・阿久根方面から鹿児島空港を結ぶ延長約64kmの地域高規格道路、北薩横断道路は平成6年に計画路線となり、平成14年に最初に野坂インターチェンジ(以下IC)と永野ICが開通して、現在まで約31.4kmが利用されています。(但し、北薩トンネル内の漏水により、高尾野ICからさつま泊野ICまでの約14.5kmは全面通行止となっています)野坂ICから空港北ICの区間、通称「溝辺道路」の全体事業費は350億円を見込んでおり、令和2年度から着手し、これまで主に測量設計に取り組んできましたが、用地買収に本格的に着手するため、地権者への説明会を県が行いました。北薩方面へのアクセス改善が期待されますが、北薩トンネルの復旧見通しがたたないため、全線開通には時間がかかりそうです。



スポーツ・コンベンションセンター 入札不調

「物価の高騰ではなくて、今、事業者が設計する段階で、313億を超えてしまっているというような話もあるが、本当に大丈夫なのか」「今回、この事業を進めるに当たりまして、専門コンサルをPFIアドバイザーとして受託契約を結んだ上で、意見交換会にも臨んでおります。その中で、設計のコンサルの意見を踏まえた上で、しっかりと精査した上で、今の313億円という額を今回議会にお諮りしているところです。」

「こういうものを造るときに、『これだけの値段になるはずがない』とかいうチェックは、結局コンサルタントがするという回答だった。ただ、これだけのプロジェクトなので、マンパワーはかかるけれども、公共で設計をしてみるというのやっておくべきではなかったのか。」「要は、県としての精査が足りないんじゃないのかなという不安があるわけです。」

「秋丸だよりNo.4」で、今年3月議会の文教観光委員会でを行った、スポーツ・コンベンションセンター(以下「スポコン」)の集中審議を行なったことを書きました。議会前に「313億では建設は難しい」という話を関係者から聴き、冒頭の質問を行いました。大島郡区の寿議員や、日置市区の元山議員も同様の指摘をしました。議会も何度も予算額について確認をし予算は成立をしたのですが、9月27日、スポコンの入札締切日、入札する業者はありませんでした。313億円には取まらないという理由でした。

今後のスポコンの整備については、いくつかの選択肢があります。

- ① 場所や仕様を変えずに、議会に予算の増額を認めてもらう。
- ② 313億円で収まる形に仕様を落とす。
- ③ 313億円で収まる形に仕様を落とし、場所も変える。

スポコンは、現在の県体育館がバスケットボールコート等が2面しか取れず、大会を県内各地での分散開催で行うこととなり、生徒が移動など試合の進め方が非効率な状況があったため、メインアリーナで4面、サブアリーナで2面という計画でした。

9月議会の文教観光委員会で仕様の見直しについて聞かれた県は「最小限の仕様」として、今のところ予算の増額の方針のようですが、一方で委員会の中では、「これ以上の増額は認めない」という厳しい声も複数ありました。県議会が予算増額を認めなければ、仕様を落とすしか無くなるのですが、そもそも、整備予定地のドルフィンポート跡地については、施設のコンセプト(仕様)をまず固めて、それに相応しい場所として選んだという経緯があります。そのため、仕様を変えるのであれば、場所の再検討も必要となるはずですが。(再検討の結果もドルフィンポート跡地という結論になる可能性はありますが)

鹿児島県として久しぶりの大規模施設整備、しかも本港区への投資的な要素もあります。老朽化している県体育館の建て替えは必要です。県民の財産としてふさわしいものが適切な額で建設されるか、議会のチェック機能が問われるところです。しかし、一方でこの1年余りの建設費、資材・人件費の高騰は、これまでの実績というものが全く当てにならない状況です。悩ましいスポコン問題は3月議会で審議されることになるでしょう。

秋丸の発言 9月の総合政策建設委員会

- 繰越明許費の増と予算管理
- 北薩トンネルの検討委員会のスケジュールについて
- 隼人港について
- 肥薩線山線の復旧に向けての現状について
- 県営住宅の未来について
- 本港区15番街区の取り扱いについて



会議録の検索ページ

委員会視察 北海道 釧路-根室-網走地区 2024.8.7-9

北海道道東地方を視察しました。北海道は大小合わせて14の空港があるため、空路での移動が容易です。視察の目的のひとつが、釧路市から根室市を結ぶ「JR花咲線」と、釧路市から網走市を結ぶ「釧網線」。両線とも利用者の減少や施設の老朽化が進み、想像以上に運営が厳しい状況で

した。さらに冬季は厳冬地ならではの除排雪作業で必要経費が重なります。JR北海道も観光列車などの収益確保に努めていますが、単独では維持存続が困難なため、沿線地域と一体となった利用促進の取組が検討されています。今回の視察を肥薩線の維持に役立てたいと思います。



釧路市役所にて

県政に対するご意見・ご要望などお気軽にご相談ください。皆様の思いを県政に届け、より良い未来を作ることが県議員の役割です。

上ではなく、前に立つ。
秋丸健一郎事務所

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1丁目9-22 キャニオン105国分-102
TEL 0995-50-0880 FAX 050-3588-6760 MAIL k16.akimaru@gmail.com



公式リンク

代表質問

〈令和6年9月19日〉

質問①

公安委員会の運営について

公安委員会は警察の民主的管理と政治的中立性の確保を図るために設けられたもので、県民の良識を代表して、警察の事に県民の考えを反映させるという役割もっています。公安委員会の委員は警察法に基づき、知事が議会の同意を得て、任命するものであります。

公安委員の選考にあたってどのような職務遂行能力が必要であると考えているか？

任命前5年間に警察・検察の職務を行う職業的公務員の前歴のない者から任命しています。人格は高潔で高い識見を有する方の中から候補者を選任。県議会の同意を得て任命しています。



再質問

人格が高潔、見識がある、そういう人材をどのように起用していますか。



人格等の選任については明確な基準はありません。県警察からの参考情報を聴取したうえで選任しています。



再質問

予想通りの答弁でした。県警を管理する立場の人間を県警が推薦した人から選ぶ、これは適切なんですか。私は疑問があります。その管理される側が管理する人を選ぶということについてどのようにお考えになられるか、知事お願いできますか。

県警の方でそういった情報を持っておられるということ、情報を参考情報として、そのまま任命をするというわけでもございませんし、過去には県警からのリスト以外からも任用をしていたいただいたということもあるという風に聞いております。その上で、その適性を判断した上で議会の同意もいただいでしつかり

と運用しているという風に認識をしております。

「本部長が隠蔽を指示したと判断する事実は認められない。」との事だが、誰のどのような報告で判断したか？

3月17日から6月21日までの間、計11回警部部長から報告を受けました。6月21日の定例会見で県警察が事実関係を明らかにしましたが、公安委員会も同内容の説明を受け判断しました。



再質問

警部部長からの報告について、その場に本部長は同席されましたか。本部長に確認することに関して、同席しました。



再質問

中立的な立場であれば、AとBの言い分が食い違う時、Aの言い分を持って「それが正しい」と判断するのは如何なものかと思いますが、中立性の配慮はありましたか。本部長や警部部長から報告を受けた際、疑問等については都度三人で確認しました。中立性については警部部長から関連した方々の話を基に判断しています。

組織運営の

適正に対する懸念とは？また県民に対し、その払拭が出来ていると考えているのか？

前生活安全部長の「本部長が隠蔽を指示した」との発言から、県警察の組織運営が、県民の信頼を失っていると思われる懸念です。この懸念は、現在も払拭されているものとは考えておらず、今後、再発防止対策を確実に実施し、実績や成果を出すことで払拭しなければならぬと考えます。



再質問

公安委員長は、本部長の隠蔽の懸念は収束はしていないというご認識を示されました。それは正しいと思います。ただし、それを解消するのが、再発防止対策の徹底。それで果たして解消されるのでしょうか。

再発防止対策が、まだスタートしたばかりですので、施策の内容によつて成果を出すのに要する時間同様であることから、現段階では、未だ県民の信頼を失っているという懸念は払拭されてないと考えているところでございます。

議場で



公安委員会が県民の良識の代表と言えるのか。強い疑問を抱いています。

今回の答弁を聞いておまして、県民の代表なのか、県警の代表なのか、わからなくなっていました。公安委員会は県警を管理するのであって、県警に管理されるのが公安委員会ではない。

議後随感

10月11日の記者会見で、知事は、「今後は委員の候補者選別に県が主体的に関与するよう検討する」と発言されました。警察が出してくる候補者リストから選んでいたのを改めるようです。

また、代表質問の中で、「公募も検討を」と申し上げましたが、そちらは否定されました。

私が国分市役所の職員時代に、介護保険事業計画策定委員の公募を上司に提案し、担当として実施したことがあります。なので確信がありますが、思いのある方は自ら手を挙げてくるものですし、そういう方をお願いした方が、よい結果となります。「探すよりも公募の方が楽ですよ」と、後日担当課に申し上げました。

本部長の6月議会代表質問への答弁について

6月の第2回定例会の県民連合の代表質問で、「(操作情報をウェブメディアに漏らしたとして)情報漏洩の罪に問われた元巡査長が、裁判で動機について、『特定の捜査に関する告発である』との主張があった場合、当該捜査が適正であったかを確認する必要があるのでは」との問いに対し、本部長は「本件の犯行動機は『自己に対する組織の評価を高めたかった』ということで、質問の前提として、調査において把握された事実が異なる」と答弁されました。

ところが、元巡査長は裁判で「強制性交事件の処理経過を疑問に感じた」と述べ、閉会中の8月6日に行われました総務警察委員会において、この動機は取り調べの時点で把握していたとの答弁がありました。本部長は「把握された事実が異なる」と虚偽の答弁をしたこととなります。

事実と異なる答弁の理由と議会答弁の重みについて?

元巡査長が述べた捜査に対する疑問については取り調べの中でも言及されました。しかし情報漏洩行為との因果関係が希薄なため県警察としては犯行動機と評価しておらず、答弁で触れませんでした。8月5日の判決においても被告人の思い込みや自己評価等が理由と承知しています。

情報公開推進に関する答弁と再発防止対策での問題解決策が不一致な理由について?

再発防止策を検討する過程で県警の業務運営を県民に分かりやすく

する必要があるとの結論に至りました。今後は県公安委員会の会議録や警察諸協議会の議事概要などの公表のあり方を見直します。



お尋ねしたのは事実であり、裁判所や県警察の評価ではありません。質問に真摯に答えるつもりなら、前回の答弁でこのように説明があったはずですが、情報公開についても、前生活安全部長の告発で方針が変わったように思います。抜本的な改革を言うならば他都道府県警より進んだ姿勢を見せてください。公表のあり方の見直しについては、鹿児島県警の取り組みが他の都道府県議会でも紹介されるほどの姿勢で取り組みたいと考えております。

議後随感

10月30日、野川本部長の異動が発表され、後任に岩瀬本部長が11月5日付けで着任されました。本部長が交代しても、職員、組織はそのままです。再発防止策の実効性が問われるなか、11月22日にはあらたな不祥事、16歳未満との性交で、30代警官を懲戒免職としたとの発表がありました。再発防止策を作る前の不祥事のようにですが、県警の信頼回復の道のは大変険しいです。

サンロイヤルホテルの住吉町15番街区への移転要望について

鹿児島国際観光は昭和45年に県が1000万円出資した法人ですが、その目的はサンロイヤルホテルを与次郎ヶ浜の観光拠点にするためでした。それが移転となると出資の意義がなくなり、また平成22年決算からは10億円前後の債務超過が続いており、コロナ禍では20億弱。移転新築して新たな負債を抱えなにか、県の見解をお尋ねします。

県は出資目的の喪失に伴う出資引き揚げを考えているか?

サンロイヤルホテルは千人以上収容可能なバンケット機能を有する県内に2つしかないホテルのひとつで、プロスポーツチームや各国代表チームの合宿に利用されるなど、本県全体の観光振興の一役を担っており、出資については、慎重に検討する必要がありますと考えております。

住吉町15番街区のホテル誘致は他の事業者も含めて公募及び審査を実施するの?

住吉町15番街区については、公平性を重視する観点から、公募を行う必要があると考えております。公募を行う際は、安定的に事業を実施できる収支計画等も評価を行う考えです。



例えばもし鹿児島国際観光が倒産する場合、金銭的な公的支援を行いますか。

仮に事業継続が困難となった場合、県は1000万円を限度として責任を引き受けることにはなりますが、損失保障を行うことにはなりません。



今回の質問で申し上げたかったのは、2点。

1点目、事業者決定のプロセスが、県民の理解を得られるような、一定の透明性を持った形で行われるのか。事業計画も全く見えない段階で、県も出資しているからと勝手に決めるようなことがあってはならない。

2点目、今議会に陳情が出ていますが、陳情が議会で採択されたら、議会で議論いただいたという説明で、移転を認めるようであれば、議会への責任転嫁ではないか。

その他の代表質問

- 霧島署のクリーニング店従業員に対するストーカー案件について
- 刑事企画課だよりについて
- 公益通報について
- 旧優生保護法を巡る最高裁判所判決と改正障害者差別解消法について
- 日向灘地震を教訓とした危機管理について

2024.9.19
代表質問動画視聴
令和6年9月19日に行った
秋丸健一郎の代表質問を
YouTubeで公開中。

